

塚本幼稚園 幼児教育学園
おかあさん新聞
A Kindergarten Newspaper

発行所
塚本幼稚園
幼児教育学園PTA
(TEL)06-6301-2166
http://www.tukamotoyouchien.ed.jp

編集兼発行人
広報委員会
委員長:酒井 紀乃
印刷:商業グラフィック印刷(株)



塚本幼稚園 幼児教育学園
園長 籠池 泰典

歴史の岐路

① 関西の大学でアルバイト労働組合ユニオンが出来たそう。

アルバイトをするために学生になったのか、大学生になったのはアルバイトをするためか、昔の苦学生ならともかく、大学生はアルバイトだなんて、産業界とつながり久しいけれど、産業界正統軍になって久しいのか？ しかもユニオンは共産党系であるのでなぜ大学生の身でありながら入会(入党)する必要があるのか、事の重大性を認識しているのか、勉強不足か、大学まで通わせてもらって共産党のユニオンとは…

企業がアルバイトの質が悪くなる(これは教育の劣化によるが)ことによりアルバイトは使い捨てするものと思っており、正規職員の数よりもアルバイトの数が増えて、社員に対する労働分配率を高めるという責任が欠落していったことも、ブラック企業を増加させた理由である。学生ユニオンが出現したことは2つの大きな問題が生じていることがわかる。

② 政治の投票権を18歳以上とする法案が通過した場合、高校卒業したての大学生も参政権を持つことになり、学生も参政権を持つことが大きな集票となることから、アルバイトをエグに学生をまとめる方法となる。

共産党がそれを目をつけたいはずはない。昔前、大学には全共闘の大学生が大暴れし、校内で殺人事件があった。警察機動隊が投入され、混乱を極め、大学の授業も休講になったことが記憶に残る。安田講堂陥落やそのあとの連合赤軍事件、あさま山荘事件など、世の中を混乱におとし入れた。

まだ人生経験の浅い大学生が、体制の変革の時間をかけずに急ぎ、暴力革命におよんだ結果は無残なる敗北であった。が、しかし、彼らは二では体制の中に入って革命をと思ったのだが、当時の企業はハッソンの付いた人間を雇い入れなかった。国の官費や地方公務員になったり、マスコミに入って体制に挑戦するという構造になった。

このことは、再び大学構内で共産党や旧社会党が動き出したのであって、昔の民主、中核派、核マルが労働組合ユニオンを率いて労働組合を組織しようとしたが、我々国民が選択した身から出たサビ。

「いわゆるイスラム国」の後藤さん(死には哀悼の意を表しますが、入国してはいけない)と政府が何度となく動員して、人々をこころに、髪、爪、皮膚

し、子供もまた乳児、身勝手である。マスコミ各社は後藤氏の死去を殉職者の様に扱っていたが、マスコミ各紙の心には、自社の社員を特派員として出せない、そのかわりに後藤氏が撮影してきた映像をマスコミ各社は購入して紙面を飾っていたという心苦しさの表れである。マスコミの身勝手を感じたのは私だけでしょうか。

これが民主党政権下で起こっていたらどうなっていたら。天は我が国を助けたもうたのであります。安倍政権はこのことで日本国の安全保障問題において具体的な対策を議会に提出。迅速かつ明確に、テロには屈しない、裁きを与えよと表明。今までの歴史の転換点に立つ内閣として毅然とした立派な態度でありました。

さて、我が国は歴史の岐路に立っています。

戦後70年。70年と言いつつ明治元年(一八六八年)から70年たった年は昭和14年(一九三八年)であり、白色人種優勢の中、日清日露戦争、第一次世界大戦、日華事変、満州事変など激動の時代を経験した。さらにアメリカの策謀にのったABC包囲網による大東亜戦争(昭和16年(一九四一年)～昭和20年(一九四五年))を経験。その後、日本はアメリカ的民主主義を受け入れ、経済大国日本となった。隣国韓半島や支那の国にあなどられて久しい。

この70年間のうち、戦中、戦後の日本は行く末を制した時間と同じくらい重要な時間が平成27年(二〇一五年)から7年間続くとことになると思えます。安倍政権は歴史のキーポイントを握っている重要な政権であることがわかる。

我が塚本幼稚園幼児教育学園が建設、開校する瑞穂の國記念小学院も多くの左翼園長の方の反対をもととせず、多くの方々の支援のもと私立学校審議会に設置妥当の答申を受け、国府七番養育会も無事通過し、いよいよ

建築の運びとなりました。当初より高くなっている建築コストを含め様々なリアリティーを考慮しながら進めたいとは思いますが、安倍首相に比較すれば、安倍首相の生き方をお手本に吉田松陰先生の「講孟余話」に「誠は天の道なり、誠を思ふものは道ならず至誠にして動かさざるものは未だ之あらざるなら、誠ならずして未だ能く動かさざるはあらざるなり」とあります。

先の大戦での戦没夫人が、かくばかりみにくき国となりたれば、生命捧げし人々惜しまるゝと詠んだ。現代日本はやくうちすてて本来の姿にも戻さねばなりません。

先の大戦で亡くなられた英霊の方々が生命を捧げられたからこそ今の日本があるのですが、その方々がなげき悲しまぬ世にせねばなりません。瑞穂の國記念小学院は世直しの為に必要なキーポイントを握る小学校であります。

少子高齢化といわれますが、少子化はおおそるに足らず、今でさえ二億三千万人ですが平安時代の人は二億三千万人程、明治維新で四千万人、大東亜戦争太平洋戦争終了時で、八千万人が全国津々日本人が散らばり、今のような限界集落はなく、全ての産業が有機的に動いていました。リサイクル型、使い切り型経済は現代だから必要であります。ロボットは進歩し、コンピュータは発達し、人は若く寿命は延びる。であれば、海外移民に頼る事なく、自国民の給与水準は高く維持しつつ、人は心を豊かにし、人生を満喫し、社会貢献するのを心がけてゆく。山林原野に入り、漁業、農業と親しみ、清浄な空気と水を大切に、日本の風情をそのまま後世に伝えてゆくことにはゆけば良いのです。全ての国民が平等に春夏秋冬を楽しめる国土に住み、経済的に八千万人総中流意義をもつ国民、人の為にならうと我が国に生まれ、育ち、有り難く思う人になるチャンスでもあります。

第4回 「親学・教育講演会」 安倍昭恵首相夫人

教育講演会

内閣総理大臣夫人 安倍昭恵先生

ファーストレディとして思うこと

